

純酸素バーナーシステム

イワタニの純酸素バーナーシステムは、米国プラックスエア社(旧ユニオンカーバイド社)の安全基準と当社独自の安全基準に基づいた酸素燃焼技術です。

空気での燃焼に比べ、燃料のエネルギーを有効に利用できるため、火炎温度も高く、生産性能向上や時間短縮を図ることができます。

灯油・重油などの液体燃料や都市ガス・LPガスといったガス燃料まで各種燃料でお使いいただけます。

鉄鋼、非鉄分野における金属溶解や耐火物の予熱、ガス化溶融炉など、さまざまな分野へ応用ができます。

< 特長 >

1. 高い火炎温度

純酸素バーナーの火炎温度は2,500℃~2,600℃と、通常のエアバーナーと比べ非常に高く、エアバーナーでは実現できない温度まで昇温することが可能です。

純酸素バーナーを用いた耐火物等の予熱では、エアバーナーによる予熱と比べ、大幅な時短が可能となり、生産効率の向上、燃料の削減、人件費の削減を実現することができます。

2. 安全設計

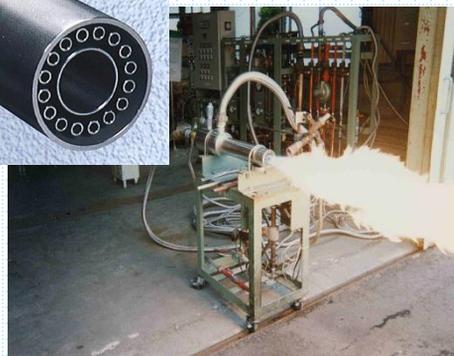
イワタニ純酸素バーナーは、予混合を行わないノズルミックス方式を採用しており、逆火の恐れのない安全性を十分考慮した酸素バーナーです。

3. 豊富なラインナップ

耐火物予熱、無機材料溶解、フェライト系溶解など、用途に合ったバーナーをご提案致します。ご利用の燃料も灯油・重油などの液体燃料に限らず、都市ガス・LPガスといったガス燃料でもお使いいただけます。

4. 安全かつ安定的なガス供給

純酸素バーナーに必要な酸素ガスの供給設備は、高圧ガス保安法の縛りを受けます。イワタニは全国に保安関連に携わるスタッフを配置しており、万全の体制でサポート致します。また、酸素ガスの供給についても、全国各地にある供給拠点より安定的にご提供致します。



時間短縮、燃料削減に！

純酸素バーナーによる取鍋予熱

純酸素バーナーにより予熱を行うことにより、エアバーナーによる予熱に比べ、予熱時間を短縮することが可能です。

特にオイルバーナーから酸素-LPGバーナーへ切り替えた場合、オイルバーナー特有の騒音を大幅に削減でき、また、油煙の発生もなくなり、作業環境を大幅に改善することが可能です。

予熱時間の短縮（予熱コストの節減）

高温度の予熱が可能（ヒートドロップの改善）

職場環境の改善（油煙の解消）



<予熱中・純酸素バーナー>



<予熱後・純酸素バーナー>

金属溶解炉の生産効率改善に！

酸素富化燃焼

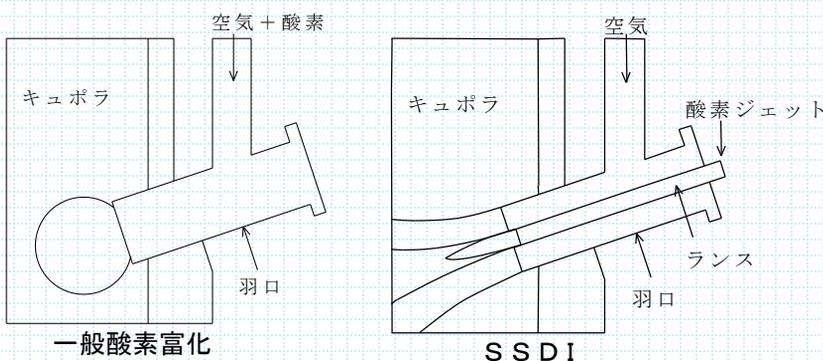
燃焼に必要な酸素の他に窒素ガス（燃焼ガスの約70%）が導入され、熱を吸収し、燃焼に寄与することなく、そのまま排気されます。

酸素富化を行うことにより、燃焼に寄与しない窒素を減らすことができ、窒素による熱の持ち出しが少なくなり、燃焼により発生した熱が加熱・溶解されるべき材料に有効に消費されるようになります。

イワタニの特殊ノズルを用いたSSDI (SuperSonic Direct Injection) 法という高効率酸素富化システムを用いることで、酸素富化の効果を更に改善できます。

生産スピードの向上（生産量の向上、初湯温度の向上）

コークス比の削減、酸素使用量の削減



Iwatani

岩谷産業株式会社
エアガス部

〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4
Tel) 06-7637-3278 Fax) 06-7637-3307